

修学旅行を終えて

修学旅行は「特別な日」です。

みんなにとって一生の思い出に残る行事であることはもちろん、先生達にとっては、あなた達を成長させる魅力的な教材でもあります。教材と言っても、それは学力を高めるためのものだけとは限りません。

修学旅行は非日常の連続です。家族から離れ、知らない土地で知らない人と触れ合いながら生活します。加えて手稲中学校の旅行団は総勢 250 人近い大所帯。いろいろなトラブルも起こるでしょうし、一人だけ頑張ってもうまくいかないことだらけです。しかし、だからこそあなた達をたくましく成長させます。

修学旅行の3日間だけで一気に力を付けられる訳ではありません。実はこれまで地道に積み上げてきた日常の力が試される場でもあったのです。

日常生活における挨拶、清掃や給食の当番活動、部活動、係活動、ルールやマナーに関わること…。もしかしたら、どれも当たり前でとるに足らない出来事なのかもしれませんが、あなた達は素直に真面目にその小さな出来事を大切にしてきました。3年生に進級した4月から、もっと言うと入学したあの時から積み上げてきた日常が今回の修学旅行に繋がっていたような気がするのです。大げさですかね？

今年の1月にアメリカ野球殿堂入りを果たしたイチロー氏が、2004年にメジャーリーグ年間最多安打記録を残したときの言葉です。

「やっぱり、小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道なんだなというふうに感じています。」

これは、ヒット1本1本を積み重ねて、年間262本安打という大記録を作り上げたイチロー氏だからこそ言える言葉ですよ。

私は「日常の小さな積み重ねが特別な日を作り上げるんだよな～」などと勝手に解釈しています。

お世話になった方々へ感謝の意を表す合唱、バスの乗り降りでの気持ちの良い挨拶、しおり片手に次の行動に備える姿、課題を克服しようと真剣に話し合うミーティング、そして仲間と交わす笑顔。どれもあなた達自身がこれまで作り上げてきた成果なのです。自信をもってください。

【保護者の皆様へ】

保護者の皆様のご協力もあり、無事に修学旅行を終えることができました。

「修学旅行、楽しかったよー」という言葉が何よりのお土産だったことと思います。「特別な日＝学校行事」も残り数えるほどになりました。これまで同様、本校の教育活動をあたたかく見守っていただけると幸いです。ありがとうございました。

修学旅行を終えて

今回の修学旅行では、今までの学校生活で積み重ねてきたことを生かすことができたと思います。理由は二つあります。

一つ目は、あいさつが良かったからです。バスの運転手さんやホテルの方など、修学旅行に関わった方々にあいさつができていました。

二つ目は、合唱で感謝を伝えることができたからです。修学旅行では合唱を数回しましたが、すべての合唱で今までにない迫力がありました。

それに対して、良くなかったところもありました。ルールやマナーが守られていなかったり、切り替えが遅かったりしたところがありました。修学旅行では、楽しむことは大切だと思いますが、周りを見て行動することも大切だと改めてわかりました。

また、秋田の方々はとてもあたたかく、私達に笑顔で接してくれました。そのような場面に触れる中で、人と人とのつながりの大切さも実感しました。

この修学旅行では盛り上がったところがたくさんありました。特に盛り上がったところは、なまはげ太鼓ライブです。なまはげ太鼓の力強い音となまはげの迫力のある動きはとても印象に残っています。学年全体が手拍子や声を出していて、とても盛り上がりました。この学年の盛り上がりが良く、なまはげ太鼓ライブをしてくれた「恩荷」の方々はやる予定がなかった演奏もしてくれました。

この修学旅行を通して、仲間と協力することやマナーやルールを守ることの大切さを学びました。楽しい思い出をたくさん作ることができましたが、自分達の行動を振り返る良い機会にもなりました。今回の修学旅行で学んだことや感じたことを今後の生活にも生かして、卒業までのあと九カ月間を過ごしていきたいです。

